

平成 19 年 1 月 23 日

各 位

不動産投信発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員

鈴木 雅之

(コード番号：8981)

投資信託委託業者名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役

鈴木 雅之

問合せ先 取締役・管理本部長

鈴木 博之

TEL. 03-6439-0333

2006 年 12 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2006 年 12 月度の月次総売上げ並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人から開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

項目/年月	客室稼働率 (%)	ADR(円)	RevPAR(円)	売上高(百万円)
神戸メリケンパークオリエンタルホテル	81.7%	19,204	15,689	624
新浦安オリエンタルホテル	82.7%	20,261	16,750	595
なんばオリエンタルホテル	83.6%	10,531	8,801	164
ホテル日航アリビラ	67.9%	22,641	15,376	395

2006 年 12 月売上に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門は、前年同月と比較し稼働率は減少したものの、販売セグメントを簡素化し需要に応じた料金体系を提供する事で、平日・週末を問わず ADR を上昇させることができました。

婚礼部門の売上げに関しては、前年と比較し婚礼件数・客数共に伸び悩みが続いていますが、成約率（成約件数/来館者件数）は上昇し、単価は好転してきております。今後の婚礼売上回復は尚、注視が必要です。

新浦安オリエンタルホテルについて

東京ディズニーシーにおける新アトラクション「タワー・オブ・テラー」の導入と5周年が相俟って、東京ディズニーリゾートの入場者数がアップした事により、マーケット全体の稼働率が好調に推移する中、高単価設定のインターネット、オンラインブッキングによる宿泊客の取込みに成功し、宿泊部門の

売上げは前年同月に比べ増加しました。

レストラン部門においては、各レストラン毎に顧客のニーズにマッチしたメニュー等を展開する事で、利用客の取りこぼしを防ぐだけでなく、リピーター客の確保にも成功しています。

また、宴会部門においても、一般宴会（クリスマス・お正月等の休暇時期におけるディナーショーの開催、忘年会新年会等）並びに婚礼とも順調に推移しました。

なんばオリエンタルホテルについて

アジア方面、関西空港便の増便でアセアン地区からの宿泊客数が好調に推移し、大阪市内の主要ホテルの平均稼働率は引き続き好調に推移しています。当ホテル宿泊部門については、先月に引き続きインターネット予約が伸びたことで、稼働率・ADR・RevPAR 共に前年同月に比べ、上昇する結果となりました。

直営レストラン・旧「どんぼーい」の改装工事実施後、新店舗「和ぎ（なぎ）」として、12月4日よりグランド・オープンしました。「和ぎ」は、夕食における販売客単価の上昇を目指しており、ターゲットとしている顧客層も変化しております。新しい顧客層へのより一層の認知を図ることにより、売上の向上を目指していきます。

ホテル日航アリビラについて

沖縄県発表の2006年12月の航空会社輸送実績はJAL、ANA、SKY3 社合計で493,063人と対前年同月比+3.7%と前月に引き続き好調に推移しました。当ホテルの宿泊部門の稼働率は前年同月を微増ながら上回り、前月に引き続きエージェント、インターネット販売において高単価商品を設定・販売できたことから、ADR・RevPAR 共に前年同月を上回る結果となりました。レストラン部門においては、クリスマスシーズンのメニュー構成及び販売が功を成し前年同月を上回る売上となりました。

注1) 上記のコメントは運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合があります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注3) ADR : 平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

注4) RevPAR : 販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADR と客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。

注5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPAR については小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

以上

* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>